

第5学年 家庭科学習指導案

日 時 令和5年2月14日 4校時
 児 童 5年1組 25名
 指導者 及川 泉

1 題材名 8 「生活を支えるお金と物」
 小単元名 よりよい買い物の仕方を考えよう

2 本時の指導構想

(1) 本時の目標

買い物は契約という社会のルールのもとで行われていることを知り、消費者としてどのような買い物の仕方をしたらよいか考えることができる。

(2) 本時の評価規準

観点	評価規準	概ね満足できる児童の具体的な姿	支援を要する児童への手立て
	[思判表]買い物の仕組みや消費者の役割が分かり、「契約」のルールがなぜ必要なのか考えることができる。【観察・ワークシート】	様々な場面で自分なりの考えを持ち、友達に伝えあうことで多様な考えに触れることができる。	具体的な場面を想定して、実際に会話したりロールプレイングをしたりすることで、イメージを持たせていく。

(3) ICT活用のあり方

学習過程	使用ツール	活用内容	予想される効果
展開	パワーポイント (消費生活総合サポートセンター作成資料)	「契約」のルールはどういうもので、なぜ必要かということに気づかせる。	具体的な場面をイメージしやすくなるため、自分に身近な問題としてとらえることができる。

(4) 本時の展開 (3/7時間)

	学習活動	○指導上の留意点 ◎評価
導入	1 学習内容を把握する。 ・「物を買うこと」「サービスを利用すること」は「契約」であることを伝える。	○私たちは毎日物を買ったり使ったりしている消費者であることを確認し、「契約」という言葉をおさえ、学習課題へつなげる。

<p>展開</p>	<p>2 学習課題を確認する。</p> <div data-bbox="276 248 906 371" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>買い物の体験をもとに、契約のルールについて考えよう。</p> </div> <p>3 問題について考える。</p> <div data-bbox="276 461 906 539" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>買ったものを返すことができるだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・理由があって返品したいときそれが可能かどうか考える。 ・返品できる・できないということを買う人（消費者）の立場で理由も明らかにしながら考える。 ・同じように売る人の立場で考える。 <p>4 学び合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果を交流し、全体で確認する。 (ワークシート→板書) <p>5 「契約のルール」を知る。</p> <div data-bbox="276 1196 906 1498" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・契約とは（権利）と（義務）が発生する約束のこと ・買う人の（申し込み）と売る人の（承諾）によって契約が成立する ・契約が成立すると、どちらか一方の都合でやめることはできない。 </div>	<p>○ワークシートに学習課題を記入する際「契約」という言葉に着目させるようにする。</p> <p>○事例をふまえ、同じような体験や思いを持ったことがあるかということにも触れながら意見を引き出す。</p> <p>○返品の可否とその理由についてはワークシートに記入し、ペアやグループで意見交換をする。</p> <p>◎ [思判表] それぞれの立場に立って理由を明らかにしながら説明している。</p> <p>【観察・ワークシート】</p> <p>【支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正解を求めるのではなく、それぞれの立場に立って理由を述べることができればよいということを伝える。 ・一人ではどうしても難しい場合は、隣と相談してもよいことを伝える。 <p>○児童の発表で体験や考えを取り上げながら、売る人と買う人では意見が違うときはどうするかと投げかける</p>
<p>終末</p>	<p>5 本時の学習をふり返る。</p> <p>6 次時の予告をする。</p>	<p>○板書をもとにふり返り、自分なりの感想をもたせ、次時への意欲づけを図る。</p>

板書計画 A

めあて: 買い物の体験をもとに、(**契約**) のルールについて考えよう。

買う人(消費者)の立場

買った物を返すことができる。

- ・きちんと理由を話せばわかってもらえるから。
- ・前に返せたことがあるから。
- ・よく利用するお店だから。
- ・まだ、箱を開けていないから。

買った物を返すことができない。

- ・食べ物だから。
- ・前に返せなかったから。
- ・あまり利用しない店だから。

① ケーキ

家族が同時に違うお店で同じ物を2つ買った。

② 洋服

お店で買った洋服を、家に帰って着てみたら、似合わなかった。

③ ゲームソフト

ゲームソフトのシリーズを間違えて買った。まだ、箱は開けていない。

売る人の立場

売った物の代金を返す。

- ・本当は返金したくないけど、お客様だから仕方ない。
- ・よく利用するお客だから、また買ってもらえるかもしれない。
- ・まだ、箱を開けていないから。

売った物の代金を返さない。

- ・食べ物なので、返品されても次に売れないから。
- ・手間をかけたから。
- ・一度買った物は返してはいけないと規則で決まっているから。